

— 令和4年度 —

紋別地区漁船組合員大会

第1部と第2部に分散して開催

9月2日、午前9時から11時30分まで、紋別漁業協同組合大会議室において令和4年紋別地区漁船組合員大会を開催した。コロナ禍での開催にあたり、感染防止のため参加人数を分散させ、第1部組合員大会に8人、第2部組合員大会は漁労長4人が参加し、本組合からは高橋健二水産局長、松本順一北海道地方支部長、渡邊長寿道北支部長が出席し、組合活動報告を行った後、意見交換で理解を深めた

慢性的な乗組員不足解消のため労働環境の整備が急務

❖第1部

組合側より道北支部の活動報告、第78年度活動方針案と漁業法改正に伴う賃金制度見直しなどについて説明し、質疑応答の形で共通認識を深めた。組合員からの主な意見は、

- ▽慢性的な乗組員不足が続いている
- ▽海技資格免許を持っていない組合員のため、紋別など地元で海技資格取得講習会を開催してほしい
- ▽乗船履歴を短縮してほしい—などの意見があげられた。

❖第2部

懇談会形式で意見交換を行い、漁労長からの主な意見は、

- ▽乗組員不足の原因は労働環境にある
- ▽長時間労働で、船内Wi-Fiも整備されていないので若者の感覚から時代遅れになっている
- ▽操業期間中の休日が少ない
- ▽遠出ができる連休付与にならないか
- ▽給料体系の見直しが急務である—などの意見が述べられた。

また、いつまでも着岸壁の改修が進展していないことや、ロシアとの境界線付近操業時の水産庁や海保との連携について改善を強く求める意見要望があげられた。

「海員だより」